



笑顔で楽しく働き続けられる環境を  
「会社あっての私」を変えよう

## 木村忠義

(国労東日本本部青年担当特別執行委員)

今年も、希望に満ち溢れた表情の新入社員が JR 東日本・貨物に入社しました。改めまして、入社おめでとうございます！！

時の流れはアッ！という間で、私も早いもので入社して 17 年が経過しました。入社式行動に参加しながら、緊張した面持ちの新入社員の顔を見ていると、自分が入社した時のことを思い出します。

就職が決まり、学生生活の最後はバイトに遊びに明け暮れていたように。入社式の日を迎えてからの生活は、規則正しい生活からかけ離れていた私にとって、新鮮さもあったが、「キツイなあ〜・・・」が、本音であったような！？

厳しい？研修期間を経て、現場に配属され、これから様々な系統で先輩から仕事を教わり、自分の生活の糧にしていくなのですが、いろいろな困難や悩みに直面する時もあると思います。仕事のこと、人間関係など・・・。そして、労働組合のこと。

もう 5 月ですから、どこかの組合に加入した方もいると思いますが、ここであえて！

## 労働組合とは・・・、何？

簡単に言えば、労働組合は、労働者(私たち)が主体となって自主的に作った団体です。主たる目的は、使用者(会社)に対して労働者の利益を守ることにあります。労働者の団結を、具体的な形にしたのが労働組合です。

私もそうでしたが、入社してしばらくは、「会社あっての私！」という意識が強いのでは？自ら仕事をバリバリこなせるようになると、「あれっ？」と思う事が多々出てくると思います。例えば、私たちが毎月受け取る賃金。



私たち労働者が使用者に雇われて賃金で生活することは、労働者が働く力「労働力」を「商品」として使用者に売り、その代償として賃金を受け取るということです。当然、私たちは「労働力」を高く売りたい、使用者は安く買いたい。ここに労使関係が生まれます。労働者 1 人で会社に対して、「労働力を高く買え！」と言っても現実的に無理な話です。ですから、労働組合に加入するのは、自分の持つ労働力をどのような条件で売のかを使用者と対等な立場で話し合い、交渉する権利を得ることです。労働組合が労働者の要求を集約し、会社に対し言っていかなければ、労働者の権利が脅かされるばかりか、会社へのチェック機能を低下させてしまいます。

労働組合のもっとも重要なことは、組合員みんなが活動に参加し、自由に議論して、決められたことはみんなが責任を持って行動すること。そして、労働組合の役員と組合員の関係は、上下関係ではなく、平等である事です。

さてさて、労働組合に加入した人も、まだの人も、加入して数年経過している人も、情報社会の中で国労に対するイメージはそれぞれあると思いますが、ぜひ！仕事を通じて、実際に話をしてみてください。今までのイメージが一変するのでは！？

最後に！！労働者には、労働組合を選択する自由があります。どの労働組合に加入するのも自由です。JR 東日本・貨物には複数の労働組合があります。それぞれの組合の考え方を比べ、自分の気持ちや考えに合った組合を自分自身が選択し加入する。あせって加入する必要はありませんよ！！あなた自身の自由な意志で決めて下さいね！！

人間らしく、笑顔で楽しく働き続けられる環境を、みんなで作って行きましょう！！